



# 新人看護職員研修通信 10月 No.7

新人看護職員研修運営委員会  
平成 29 年 11 月 6 日

10月は夜勤の一人立ちに向け、自分の傾向を知り今後活かすことを目的として、多重課題シミュレーションを実施しました。多目的ホールに4床室を設定し、模擬患者さんの訴えに対して優先順位を考えて行動します。(患者役は係長さんたちです)時には同僚への協力依頼等、4チームで対応することも経験しました。今後は自立して行う看護技術が増えていきますが、まだまだ経験不足・理解不足な点が多々あります。新人含め先輩の皆さん、これまで以上に報告・連絡・相談機能を活用してコミュニケーションを密に取っていくようにお願いします。

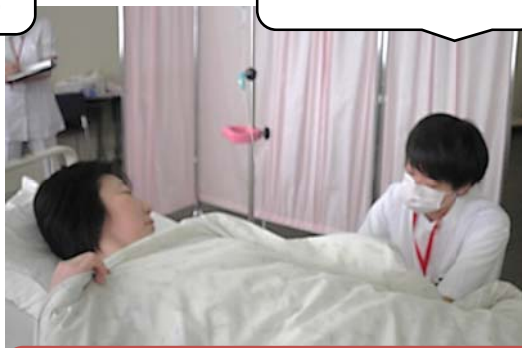
10/5

今晚担当の〇〇です。  
よろしくお願いします



言葉使い、対応は皆さん丁寧に好感が持てました。今後も継続してください。

点滴のところ確認  
しますね。



留置針刺入部痛を訴える患者さんと  
視線を合わせて、確認していますね。

おトイレ終わったら、  
教えてください。



転倒リスクのある患者さんは、そばを  
離れない等の対応を確認しました。



自分の行動をDVDで客観的に確認する  
と同時に同期からも学びました。

部署のチームの一員として行動する際に報・連・相は誰にするのか、部署の皆さんで今一度確認してみませんか？

- 1「報告」は、指示された人に
  - ・指示をされた人に、経過や結果の報告をします。
- 2「連絡」は、その仕事の影響が及ぶ人に＝関係者に
  - ・自分以外の関係者へ、業務上知っておく必要のある情報を伝えます。
- 3「相談」は、その仕事の専門性を持った人に
  - ・看護に関する事は、先輩看護師に
  - ・治療に関する事は主治医に
  - ・薬剤、医療機器などの専門分野はその専門家に

\*わからない同士での相談は、避けましょう。

また、報告前に先に相談する等の相・連・報も有効です。



この件についての報告は、今のタイミングでいいのかな？  
報告内容は十分かな？  
先輩やリーダーに相談してみよう！